

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

肺動脈性肺高血圧症の治療成績に関する後方視的研究

[研究責任者]

循環器内科 統括診療部長 松原 広己

[研究の背景]

肺動脈性肺高血圧症の治療は、過去 10 年の特異的治療薬の開発に伴い大きく変貌しました。かつては肺移植以外に有効な治療法がなく、5 年生存 30%以下であったものが、運動耐用能や自覚症状の改善などを治療ゴールとした海外からの報告では、5 年生存率 60%程度にまで改善しています。一方、血行動態指標の改善を目指してきた当院では、特発性肺動脈性肺高血圧症において 10 年生存 70%以上が期待できるようになり、最近の症例では血行動態的には治癒といっても差し支えない状態まで改善できる例すら認められるようになってきました。このように異なる治療ゴールに基づく当院の患者群においては、海外の報告と異なる予後規定因子が存在すると考えられます。これを明らかとすることは、全世界における肺動脈性肺高血圧症の治療成績を飛躍的に改善することにつながります。

[研究の目的]

肺動脈性肺高血圧症の生命予後とその予後予測因子を検討すること

[研究の方法]

●対象となる患者さん

肺動脈性肺高血圧症の患者さんで、西暦 2003 年 4 月 1 日から西暦 2019 年 12 月 31 日の間に当院で治療を受けた方

●研究期間

西暦 2020 年 2 月 26 日から西暦 2022 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：

- ・年齢、身長、体重、性別、診断名（サブグループ）、診断確定日、治療導入終了日、フォローアップ日、最終（生存）確認日、失神発作既往の有無、急速な病勢進行既往

の有無，肺高血圧症治療薬の内容

- 診断確定時とフォローアップ時の以下の項目
NYHA 機能分類，6 分間歩行距離，血液検査，BNP 値を含む血液生化学検査値，心エコー検査の諸指標，右心カテーテルデータ

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター
循環器内科 松原 広己

電話 086-294-9911 (代表)

FAX 086-294-9255 (代表)